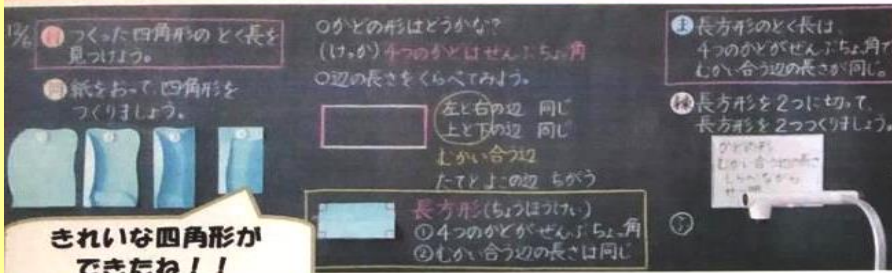


「めあてーまとめ・振り返り」のある授業づくりを検証 ～次なるステージに向けての手立て～

H29校内授業研究会で見られた成果 → 「めあてーまとめ・振り返り」の定着

① つくった四角形のとく長を見つけよう。



「めあてーまとめ・振り返り」のある授業でおさえるべきポイントが、板書にも生かされています。



- 学習指導要領解説の指導事項の確認
- ゴールから考える授業づくり
- 「めあて」と「まとめ」の正対
- 考察の視点を示して「まとめ」と関連「角の形は?」「辺の長さは?」

〈米子市立和田小学校の実践より〉

② 長方形のとく長は、
**4つのかどが ぜんぶ ちっ角
むかい合う 2つの 辺の 長さが 同じ。**

次のステップ → 「まとめにつながる発問の工夫」と「全員が活躍できる授業づくり」

【現状】「めあてーまとめ・振り返り」を位置付けた取組が進む一方、①教師の説明中心で進む授業や、課題解決できた一部の子供の説明中心で進められるなど、②発言が一部の子供に偏る授業も見られます。

① 教師の説明中心で進む授業

→ 発問により、本時のポイントを引き出し、子供の言葉でまとめる。

めあて 分母の違う分数を係数にふくむ方程式の解き方を考えよう
(中学校1年 数学「方程式」)

【問題】
$$\frac{1}{2}X - 4 = \frac{1}{3}X$$

まとめ 方程式の両辺に分母の最小公倍数をかけ、分母をはらって整数にして計算すればよい。

【ポイントを引き出すための発問例】

$$6 \times \left(\frac{1}{2}X - 4 \right) = 6 \times \left(\frac{1}{3}X \right)$$



T なぜ6をかけているのだろうか？

- C 分母を消すため。
- C 通分して計算するのは大変。分数を整数に直すと簡単だから。

T 6ってどんな数だろうか？

- C 6は、かけることで二分の一と三分の一を一度に整数にできる数。
- C 6は2と3の最小公倍数。

T 整数の項にも6をかけるのですか？

- C 方程式の両辺にかける必要があるの、整数の4にもかける。
- C すべての項に同じようにかける必要がある。

② 発言が一部の子供に偏る授業

→ より多くの子供にアウトプットの機会を保障する。



一度聞いただけで理解できる子供は多くありません。繰り返し自分の言葉で説明することで、理解が確かになります。

【取組例】

- ① 「同じ考えでもよいので、自分の言葉で発表してごらん」と複数の子供に発言を促す。
- ② 一つの発問に対し、一列全員が考えを述べる。
- ③ 子供が板書した式・図から、思考の流れや意図を他の子供が考え、説明するよう促す。(少なくとも2人に説明させる。)

全員が活躍できる授業づくりを目指す！

〈お知らせ〉

研究主任等情報交換会

- ◆日時 2月23日(金) 14:30-16:45
- ◆場所 西部総合事務所 講堂
- ◆主な内容

次年度の授業づくりのポイント
校内研究についての情報交換